

## 令和5年度第2回小平市国民健康保険運営協議会要録

日 時	令和5年9月13日（水）午後1時15分開会（午後2時10分終了）
場 所	市役所5階 504会議室
出席者	会長及び委員14名、計15名（欠席者2名）
議 題	1 令和5年度小平市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)について 2 令和4年度小平市国民健康保険事業特別会計決算の概要について 3 小平市国民健康保険データヘルス計画に基づく保健事業実施状況報告（令和4年度実績） 4 その他
傍聴者	なし

### [主な質疑等]

#### 議題1 令和5年度小平市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)について

- 会 長 : 令和5年度の国民健康保険税の税収の見通しは。また資料1①「補正予算とは」に記載の「小平市の国民健康保険事業特別会計では、令和4年度の実質収支は約2億5,845万円の黒字でした」の「黒字」について説明を求める。
- 事務局 : 令和5年度の国民健康保険の税収について、7月に一斉発送した国民健康保険税の納税通知書の状況を見ると、被保険者数及び一人当たりの所得の減少により当初予算よりも税収が減少している。被保険者数の減少については、後期高齢者医療制度への移行、被用者保険の適用拡大が要因と考えている。所得の減少については、新型コロナウイルス感染症の影響による所得の減少に対する国からの補填制度がなくなったことが要因ではないかと考えている。税収の減少に対応するため、令和5年度補正予算で、国保運営基金へ積立てを行う。
- 令和4年度の実質収支の黒字については、歳入と歳出を引き算すると黒字となるということである。この黒字の中には、令和5年3月に東京都から交付された保険給付費等交付金の返還金約6,000万円等も含まれており、実質の黒字としては約1億円となり、今回、8,500万円を国保運営基金へ積み立てる。

#### 議題2 令和4年度小平市国民健康保険事業特別会計決算の概要について

- 委 員 : 資料2①、一般会計繰入金が令和4年度は21億円で、令和3年度より2億2,500万円の増となっているが、これは昨年度、国民健康保険税の税率改

定を行わなかったことが要因なのか。また、資料2④に傷病手当金の支給実績が記載されているが、この制度はどのようにPRしたのか。

事務局：一般会計繰入金については、税率改定を見送ったことと、東京都に支払う事業費納付金が増えたことから、増となっている。

傷病手当金については、窓口で配布している国保のてびきで周知してきたほか、令和5年5月8日以降に新型コロナウイルス感染症に感染等したことに対する支給が終了することに伴い、市ホームページ及び5月5日号の市報に情報を掲載した。

委員：一般会計繰入金が、前年度から2億2,500万円の増となっている。令和4年度第2回国民健康保険運営協議会の中で税率改定の諮問があり、審議の結果、原案を適当と認めると答申したが、様々な事情から税率改定がなされなかった。世界に誇れる医療保険制度を維持し、財政赤字を将来世代に残すことは避けたい。こちらも協力していくので、是非とも国保財政の改善に向けて取り組みをお願いしたい。また、このような状況の中で、若干ではあるが、徴収率が上がったことは良かったと思っている。

事務局：昨年度、国民健康保険運営協議会の中で税率改定について諮問し答申をいただいたが、長引くコロナ禍や物価高騰といった市民を取り巻く生活状況の厳しさなどを総合的に勘案して税率改定を見送った結果、令和4年度決算で一般会計繰入金が伸びてしまった。これ以上、一般会計繰入金が増えることがないように、改定率を上げて税率改定を行うことを検討しており、次回の国民健康保険運営協議会の中で説明を予定している。

委員：当初、8月10日に送付された第2回国民健康保険運営協議会の開催通知では、税率改定の諮問が記載されていたが、今回の開催にあたって削除となった。次回、第3回国民健康保険運営協議会では、この内容が諮問されると考えてよいか。

事務局：税率改定について、現在、必要な税収等、数値の精査を行っており、第3回国民健康保険運営協議会での諮問を予定している。

### **議題3 小平市国民健康保険データヘルス計画に基づく保健事業実施状況報告（令和4年度実績）**

委員：資料3②、24ページの多受診者指導について、対象者400人中、50人が事業に参加し、84%が改善となっている。かなり素晴らしい数値だが、事業に参加しなかった350人に対しては、何らかの対応を行うのか。

事務局 : 目標値が50人であり、予算上も50人を見込んでいる。事業に参加しなかった対象者への指導については、今後研究していかなければならないと考えている。事業に参加しなかった方からは、病院がお盆休みでたまたま受診が重なってしまったといったことも聞いており、自然に多受診の状況が解消したといったこともあったため、今後、参加しなかった理由を聞く機会が作れるかなどを研究したい。

会 長 : 第二期小平市国民健康保険データヘルス計画は、令和5年度で終了となるが、第二期データヘルス計画全体の総括と、次期計画の策定に向けた準備について状況を伺いたい。

事務局 : 令和6年度からの第三期小平市国民健康保険データヘルス計画の策定に向け、準備を進めている。令和6年1月に東京都に報告するため、これまでの第二期小平市国民健康保険データヘルス計画の実施状況を振り返り、課題を踏まえて、次回の計画にどのように反映していくか、保険事業の内容を変更するかということも含めて、現在検討を行っている。第三期小平市国民健康保険データヘルス計画については、今後の国民健康保険運営協議会で報告を予定している。

会 長 : 第三期小平市国民健康保険データヘルス計画は、基本的には、第二期の項目を引き継ぐことになるのか。

事務局 : 国や東京都からの柱となる指標が示されており、引き継がれるものが多いと考えている。

委 員 : 健診事業のアウトカムについて伺いたい。実際に健診を受けていただいた上で、高血圧など異常や病気が見つかったというアウトカムを示すことができれば、健診の受診率向上や、健診の本来の目的である適切な医療に繋げるということができるのではないか。

事務局 : 目標値という形で捉えることは難しいが、健診を受けて良かったといった受診者の声を、ホームページや国保だより特別号等で、掲載することを検討したい。

#### **議題4 その他**

事務局 : その他の議案はございません。

以上